

大山地域の縄文遺跡(3)

花切西遺跡

はなきりにし 花切西遺跡の位置と環境

花切西遺跡は、富山市本宮地内（らいちょうバレースキー場近く）の粟巢野台地（常願寺川の河岸段丘）に位置する縄文時代中期～晩期（約 4500～2700 年前）の遺跡です（図 1）。標高 540～548m で、河床との比高は約 140m です。

花切西遺跡の東側には、縄文時代中期～後期（約 4500～3000 年前）の花切遺跡（標高 548～556m）があり、両遺跡とも粟巢野台地の拠点集落で、縄文時代の県内最高所にある遺跡です。

発掘調査の概要

遺跡は、2000 年冬季国体に向けた道路整備に先立ち、平成 9（1997）年に行われた約 850 m² の発掘調査では、縄文時代中期（約 4500～4000 年前）の竪穴住居跡 2 棟、後期～晩期（約 3500～2700 年前）の竪穴住居跡数棟のほか、土坑を多数検出しました。

中期の竪穴住居跡 第 1 号竪穴住居跡（写真 1）は長軸長 5.4m、短軸長 3.7m、最大深 0.9m の楕円形で、中央やや東寄りに石組炉を設ける構造です。壁際の床面に煮炊きなどに使った縄文土器（写真 2）が残されていました。住居内の遺物の出土量が少ないことから、住居の使用を止めたときに利用可能な土器や石器を持ち出したと考えられます。

第 2 号竪穴住居跡（写真 3）は、南側約半分が調査区内に残っており、隅丸方型と考えられます。床面で支柱穴 2 基や煮炊きなどの使った縄文土器などを検出しました。また、メノウなど石器を作るための原材料（原石）も出土しています。

出土品からわかる縄文人の暮らし 発掘調査ではコンテナ（54cm×34cm×10cm）120 箱に及ぶ大量の土器や石器が出土しました。

縄文時代中期～晩期の土器のほか、石器では打製石斧・磨製石斧・石皿・擦石・叩石などがあります。木の実などを割る時に使う凹石の出土量が多く、狩りや漁に使う石鏃（下呂石製など）・石錘の出土量が少ないことから、植物性食料に依存した暮らしだったと考えられます。凹石は炉石に転用されたものもありました。他に、呪術の道具



図 1 花切西遺跡と花切遺跡



写真 1 第 1 号竪穴住居跡（西から）



写真 2 同 縄文土器出土状態

せきぼう せきとう じゃもんがん
 (石棒・石刀) や蛇紋岩製丸玉、玉などを磨く
 すじといし
 筋砥石も出土しています。

遠くから運ばれた石器の材料 史跡北代遺跡から 100km ほど離れた飛騨南部で産出し、石器の材料となる下呂石は、主に神通川を經由して富山へ運ばれました。神通川沿いの丘陵部の集落からは、下呂石製石鏃が大量に出土します。加工しやすく鋭利な特徴が好まれ、大量に生産・消費が行われたとみられます。下呂石の搬入は、縄文時代前～中期がピークでした。

花切西遺跡では、下呂石の石核（石器の素材となる部分を取った後の原石）や筋砥石などが出土したことから、縄文時代中期～後期に石器を製作したと考えられます。

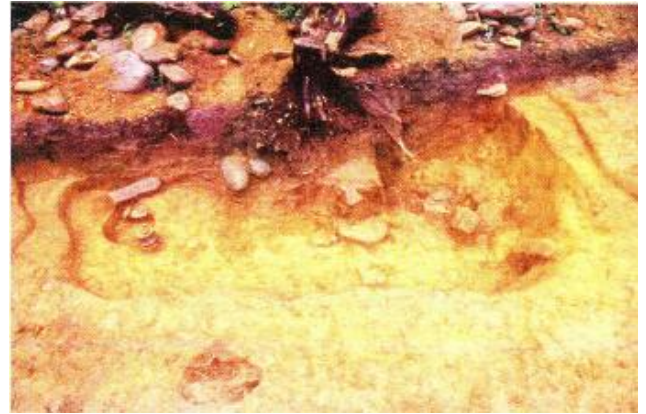


写真3 第2号竪穴住居跡（南から）

あわすのだいち 粟巣野台地の縄文集落

縄文時代中期の粟巣野台地では、花切西遺跡と花切遺跡が拠点的な集落でした。主に植物性食料に依存しながら、必要な石器も製作して暮らしていました。中期中葉は花切西遺跡、中期後葉は花切遺跡が栄えましたが、両遺跡とも後期に入り一時途絶えます。後期後葉～晩期中葉には中期と比べて規模が小さいものの、花切西遺跡で再び集落が営まれました。両遺跡の推移（図2）は、粟巣野台地の縄文人の生活拠点の変遷を示しています。

花切遺跡の概要 30 棟以上の竪穴住居跡や多数の土坑などが見つっています。出土品は花切西遺跡と類似しており、凹石の出土量が多く、石鏃・石錘の出土量が少ないため、植物性食料に依存した暮らしだったと考えられます。竪穴住居跡からはヒスイ製をはじめとする磨製石斧やその未成品、ヒスイ原石などが出土したことから、磨製石斧なども製作していたと考えられます。

タカラ貝形土製品 花切遺跡では、全国で 5 例しか出土していないタカラ貝形土製品も出土しました。史跡北代遺跡でも出土しており、直線距離で約 30km も離れた両遺跡の関係が注目されます。

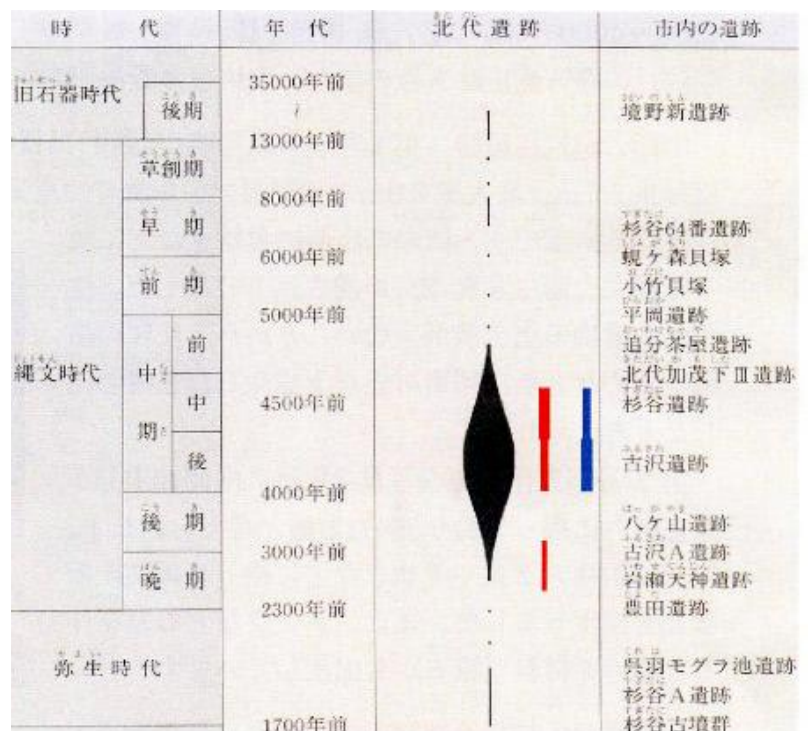


図2 北代遺跡と花切西遺跡・花切遺跡の推移

※花切遺跡は、平成 18 年度のミニ企画展「大山地域の縄文遺跡(1)」で詳しく紹介しました。

そのパンフレットもあわせてご覧ください！

- 主要参考文献** 大山町教育委員会 1999 『富山県大山町花切西遺跡発掘調査概要』
 大山町教育委員会 1988 『富山県大山町花切遺跡発掘調査概要』
 大山町教育委員会 1999 『富山県大山町花切遺跡発掘調査概要』